

ふじさわ市議会だより

FUJISAWA CITY COUNCIL NEWSLETTER

Topic 1

＼令和7年度の/
予算内容を徹底審査！…P 2～9（P 4を除く）

Topic 2

魅力ある"藤沢"へ
市長に集約した意見などを提出！…P 11

令和7年
2月定例会
No.257

令和7年4月25日発行



予算等特別委員会の様子

議会を
見てみよう！

 **YouTubeでも
動画配信中**



藤沢市議会
チャンネルはこちら！

2月定例会で行われた
代表質問の動画を
YouTubeでも試行的に
配信しています。
ぜひご覧ください。

詳細はP11へ



Contents

令和7年度予算審査	P 2・3
主な議案の審議結果を解説・人事案件	P 4
代表質問	P 5～9
各委員会の行政視察報告	P 10
市長に集約した意見などを提出・お知らせ・議会の動き	P 11
常任委員会・特別委員会の動き	P 12・13
議案等審議結果・会派構成	P 14・15
今後の予定	P 16

令和7年度

、藤沢市がもっと良くなるために、

予算案を審査しました。



令和7年度8会計予算および1条例の計9議案は、3月4日に設置された予算等特別委員会において、9日間にわたり審査が行われ、3月19日の本会議で全て可決されました。

ここでは、予算等特別委員会の審査の概要をお知らせします。

令和7年度 予算等特別委員会委員

委員長 栗原 貴司 副委員長 谷津 英美

委員 土屋 俊則 味村耕太郎 小池 恵子 西 智 有賀 正義 町田 輝佳 井上 裕介

柳田 あゆ 安田 景輔 西川 誠志 今井みきこ 神尾 江里 佐野 洋 東木 久代

注目の質問と回答

注目 Point

1

未来を担う子どもの学習支援を

Q 子どもに人気のあるプログラミング事業を拡充しては。
A 令和7年度も6年度と同様に、小・中学生を主な対象とした各種講座・イベントを開催する予定である。加えて、受講人数の拡大、パソコンの貸与など参加を希望する全ての子どもたちがプログラミングに親しむことができる環境の整備に努めていく。



注目 Point

2

ケアラーへの具体的な支援を

Q ケアラーが抱える課題は多岐にわたっており、その困難さの度合いに応じた具体的な支援をすべきでは。
A 今後は、地域福祉推進課がハブ的な役割となり、ケアラー当事者やその世帯が抱える課題を把握することで、適切な制度につなげるなど支援機関と連携し、寄り添った支援が必要であると認識している。



注目 Point

3

まかせて会員の事務手続き簡略化を

Q ファミリー・サポート・センター事業における子育ての手助けができる方である「まかせて会員」の負担となっている活動報告などの事務手続きを簡略化すべきでは。
A 今後は、活動報告書の提出をメールフォームから読み込み、報告できるような形に変えていくことで、負担軽減に努めていきたい。



注目 Point

4

福祉大型ごみ収集周知の工夫を

Q 福祉大型ごみ収集運搬事業の実態と周知の工夫は。
A この事業は、大型ごみを持ち出せない高齢者などに対し、市がごみの持ち出しを無料で行っている。今後もチラシの配布などにより、より多くの市民への周知と利用促進に取り組む。



注目 Point

5

農業と福祉の連携促進を

Q 農福連携（※）促進事業について、来年度どのような取り組みをしていくか聞きたい。
A 事業の周知を行うとともに関係各課と連携を図り、農業者支援につなげるよう検討していく。
（※）農福連携…障がい者などが農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組み。



注目 Point

6

利用しやすい自動車駐車場へ

Q 湘南台駅地下自動車駐車場の入出場時間を、小田急江ノ島線の始発・終電に合わせ、変更した方がよいのでは。
A 現在の指定管理期間である令和8年度までは、入出場時間の変更ができないが、次の指定管理期間となる9年度からは、指定管理の公募条件の入出場時間を午前5時から翌日午前1時までにしていきたいと考えている。



注目 Point

7

中学校給食の魅力づくりを

Q 給食を利用している生徒が引け目を感じないよう、給食の魅力づくりに、どのような取り組みをしているか。
A 本市では、給食の試食会を実施している。試食会は、給食の美味しさを周知することができ、喫食率を高める要因の一つと考えている。今後も試食会の実施を続けることで、魅力向上に努めていきたい。



各会派の意見・要望

ここでは、予算に対する各会派の意見・要望の要旨をお知らせします。各会派の賛否はP14、15をご覧ください。



民主クラブ

誰一人取り残さない政策の実現を

①子どもの権利条約の理念について、全ての子ども関係者で共有を。②窓口業務の協働事業は、廃止を含めた検討を。③市民全体の公共交通の利便性向上への対策を。④老朽化した地域子どもの家の早急な整備計画を。⑤産後ケアについて、デイサービスやアウトリーチについても、自己負担額の軽減を。⑥待機・保留児童対策のためにも、保育士のさらなる処遇改善を。⑦学校図書館専門員の専門性を反映した処遇・勤務体系の実現を。⑧児童クラブやその他の子ども施設も「障がいの有無に関わらず共に過ごせる場」とするよう検討を。⑨本市の携帯トイレの備蓄を、全市民3日分に増やすべき。⑩段ボールベッドを備蓄できるスペースの確保を。



日本共産党藤沢市議会議員団

財源を大型開発ではなく福祉、暮らしに回すこと

①修学旅行先を万博としているが、生徒の安全最優先な行事の在り方を検討すべき。②住民サービス低下の懸念がある窓口業務民間委託化は、やめるべき。③女性支援法に基づく調整会議は具体的な支援につながるよう努めること。④国保料一人2万円以上引き下げ、払える保険料にすべき。⑤国の言いなりで強引に推進したデジタル化は一度立ち止まるべき。⑥公共施設予約システムは、紙との併用に戻すべき。



湘南維新の会

共創推進のための環境整備を

①地域福祉の強化のため、全市民センターへ福祉職の配置を。②ふるさと納税の効果的な推進のため、官民連携の方策を。③介護の質の向上と事業者の負担軽減のため、ロボテラスの施設見学促進や事業者間の連携強化を。④大学や企業と連携し、空き住戸の活用を。



アクティブ藤沢

ブラックボックスを開き“共創”で社会課題解決に挑む市政へ

①村岡新駅周辺企業に共創パートナーとしてリカバリー方針を。②市長の企業団体献金を受けない姿勢を評価。③いじめ放置の学校ブラックボックス（※）を開こう。



市民クラブ藤沢

将来の財源不足を見据え、効率の良い市政運営を！

①全国で9割以上の自治体で廃止している職員の持ち家の住居手当は即刻廃止を。②公共施設予約システムは、市民の声を反映したシステム構築をすること。③データを分析し政策立案するためのデータ分析人材の育成を。④被災者への迅速かつ適切な支援を実現するため、防災備蓄資機材の管理をDXで効率化を。⑤介護者の負担軽減につながる生活支援ロボット普及のための具体的な支援体制を。⑥産前産後の支援としてヘルパー派遣事業の導入を。⑦各種ワクチン接種は市民の健康を第一に考え、市の判断で任意接種の助成を行うこと。⑧望まない受動喫煙を防止する取り組みの推進を。⑨観光客増加による交通渋滞緩和のための海上ルートの広域連携での強化を。⑩高齢者の移動支援としてコミュニティバスの導入を検討すること。⑪藤沢駅南口に短時間利用者が停められる駐輪場の整備を。⑫小中学校の防災用ヘルメットの導入に向けた具体的な検討を。



藤沢市公明党

最小の経費で最大の効果を

①耐震性不十分な住宅解消に向け、一層の努力を。②人命最優先で避難所の状況改善を。③トイレトレーラーの早期購入検討を。④路面下空洞調査の取り組み周知と、一層のブラッシュアップを。⑤公共施設予約システムは利用者の意見を聞き使いやすいように改善を。⑥おくやみ手続支援窓口のワンストップ型を。⑦産後ケア事業は、デイサービス、アウトリーチ利用者の負担軽減策に取り組むこと。⑧放課後児童クラブ事業の拡充を。⑨フリースクールへの補助を検討すべき。



Visionふじさわ

医療費適正化と予防医療充実で財政負担軽減を

①職員持ち家住居手当は廃止を。②民地の公共性高い場所のスズメバチ巣撤去は全額補助を。③福祉部窓口にコンシェルジュ設置と窓口ワンストップ化を。④ゴミ全品目戸別収集は集積所管理が継続する自治会などへ公平対応を。⑤辻堂駅周辺渋滞解消へ藤沢厚木線早期事業化を。



自由民主無所属の会

温故知新の精神から新たな市政運営を

①郷土づくり推進会議は、若者の柔軟な発想を取り入れ、具体的な取り組みを。②いわゆる「実子誘拐」については、子どもの権利擁護が図れる制度設計を。③歴史的建造物の積極的な再整備事業による資産化を。④村岡地区の新駅とまちづくりは、住民に寄り添った計画を。



We藤沢

500名超の入所保留児童解消へ向け新規保育所開設を！

①保育所の積極新規増設を。②中学校校舎建て替えの際には給食室の新設を行い順次自校式給食実現を。③費用対効果の低いふじさわ安心ダイヤル24事業は廃止を。



※予算等特別委員会の詳細は、市議会ホームページの議会録画放映および会議録（5月下旬ごろに掲載）をご覧ください。

用語説明

（※）ブラックボックス…内部でどのような処理をしているか、外部から不透明なもののこと。

主な議案の審議結果を解説

2月定例会は、2月13日から3月19日までの35日間にわたり開催され、市長から提出された令和7年度8会計予算など42議案が可決・承認・同意されました。

また、議員提出による議案「藤沢市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について」が可決されました。

議案等審議結果はP14、15をご確認ください。

解説

Pick up!



条例改正

議案第80号
藤沢市都市公園条例の一部改正について

市内運動施設 定期料金導入！

八部公園の水泳プール、トレーニングルームおよびサウナ浴室、秋葉台公園の水泳プールならびに秋葉台文化体育館のトレーニングルームおよびサウナ浴室の利用料金に、定期利用の料金を導入するため、条例を改正します。

可決
全会一致

条例改正

議案第87号
藤沢市石名坂温水プール条例の一部改正について

石名坂温水プール 定期料金導入！

藤沢市石名坂温水プールの利用料金に、定期利用の料金を導入するため、条例を改正します。



可決
全会一致

補正予算

議案第89号
令和6年度藤沢市一般会計補正予算（第6号）

一般会計（109事業）43億5290万7千円増額

主な事業費

地域防災緊急整備事業費

避難所の生活環境を改善させ、地域防災力を向上させるために必要な資機材を整備します。



がん検診事業費

子宮頸がん検診および胃がん検診内視鏡検査の受診者数が当初の見込みを上回ることから経費を増額します。

諸整備事業費(小学校)

藤沢小学校の給水設備が老朽化により劣化しており、早期の改善が必要であることから、改修工事を実施します。

可決
賛成多数

議員全員協議会を開催

市政運営の総合指針2024の改定について

令和7年1月31日に議員全員協議会が開催され、市政運営の総合指針2024の改定について市から報告を受け、この改定案に対し、質疑などを行いました。

この改定案は、前回（令和6年12月4日）の議員全員協議会で提出された素案に対し、議員が意見を付した箇所などについて、見直しが行われたものです。

総合指針

議案第68号
藤沢市市政運営の総合指針2028基本方針の策定について

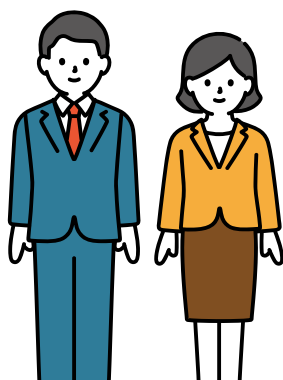
令和7年2月17日の本会議において、本市を取り巻く社会経済情勢などに対応するための政策、施策体系として、市政運営の基本方針を定める本議案について、賛成多数で可決されました。

可決
賛成多数

人事案件

教育委員会委員の任命、監査委員の選任、人権擁護委員候補者の推薦について同意しました。

- 教育委員会委員（令和7年4月1日から11年3月31日まで）
飯盛 義徳 氏（再任）
- 監査委員（令和7年4月1日から11年3月31日まで）
岸本 寛之 氏（新任）
- 人権擁護委員候補者（令和7年7月1日から10年6月30日まで）
佐藤 早苗 氏（再推薦）



代表質問

2月定例会では、2月28日・3月3日・4日の3日間にわたって代表質問が行われ、会派を代表した9名の議員が、新年度の市長の施政方針や予算案などに対し質問をしました。記載内容は、代表質問および答弁内容の一部を抜粋・要約したものです。代表質問の全体を確認したい場合は、録画中継（2次元コードから読み込み）、会議録、もしくはYouTube動画をご確認ください。代表質問の内容についてのご質問は、議会局または代表質問を行った議員へお問い合わせください。

市民クラブ藤沢

佐賀 和樹



市制施行85周年に向けて

Q 未来ある子どもたちが、住んで良かった、これからも住み続けたいと思い、これからも発展し、進化し続けるために、これらの市政運営について市長の考えを聞きたい。

A 本市がさらに発展し、進化を遂げていくため、全ての職員が、現在目の前にある市民の暮らしにしっかりと向き合い、地域課題の解決を目指す取り組みを不断のものとしていくことが重要と考えている。市長として、人生100年時代において、多様な個人が健康で活躍し続けられるよう、人権や平和、女性のエンパワーメントなど、市民一人一人が多様な幸せを実感でき、市民の内発的な思いや文化的な多様性が広がり続ける市政運営に取り組んでいく。また、藤沢駅周辺地区や村岡新駅周辺地区、健康と文化の森地区のまちづくりを含めた都市機能の充実、緑の保全と合わせて取り組むことで、まちの魅力と活力の向上につながる税収確保にも資する「投資」の視点をもった政策を積極的に進め、暮らしやすい藤沢が持続的に発展していくよう取り組んでいく。市政運営の新たな枠組みとしては、多様な主体とパートナーシップを組み、それぞれが持つ知恵やアイデア、ノウハウなどを出し合い、生活課題などを解決する価値を生み出す「共創」を推進し、イノベーションが起き続ける地域社会づくりを進めていく。また、共創人材やデジタル人材など、職員力を強化する「人づくり」を重要なテーマとして取り組んでいく。市制施行85周年に当たり、先人たちが育んできた郷土愛や、藤沢の歴史である人の和を大切に、「誰もがやりたいことを見つけられ、実現できる藤沢」を目指していく。

放課後の学校施設活用について

Q 小学校における放課後の学校施設利用について、学校施設の活用について柔軟に対応するべきだと考えるが、見解を聞きたい。

A 学校は、義務教育機関としての役割はもとより、地域と一体となって子どもたちを育むという考えのもと、「地域とともにある学校」を目指しており、放課後の子どもの居場所については、地域と学校の連携により、可能な限り学校施設を活用することが望ましいと考えている。学校施設の活用については、学校の運営に大きな支障が伴わないことを前提として、学校にも協力を求めながら、関係部や関係機関などと協力、連携を図り、設置に向けた調整を行う必要があると認識している。

地域ポイントの導入について

Q 地域活動へのインセンティブ制度の導入の調査研究をし、旗振りの役を決めてプロジェクトとして作り上げていく必要がある。今までの検討状況を踏まえ市の見解は。

A 福祉部と市民自治部を中心に藤沢市支えあう地域づくり推進連絡会委員と意見交換を行うとともに、地域活動やボランティア活動などの活性化に資するポイント制度などについて検討を重ねてきた。全国で実施している地域ポイントや地域通貨制度について、成功事例のみならず、廃止に至ってしまった事例も含め、引き続き、先進事例などの調査研究を行い、まずは、事業の目的や範囲について整理を行うとともに、改めて庁内における検討方法や進め方などについても調整を図っていく。

児童クラブの昼食提供

Q 夏休みなどの長期休業期間中の放課後児童クラブでの昼食提供についての対応を聞きたい。

A 長期休業期間中の昼食提供については、ニーズなどを把握するため、放課後児童クラブを利用する世帯を対象にアンケート調査を実施した。その結果、昼食提供を希望する世帯は全体の9割で、「昼食代金」は300円から500円程度が9割を占め、「利用したい回数」は週5回が4割であった。なお、昼食提供を実施する際は、放課後児童クラブ側に負担を生じさせないことが必要となるため、「放課後児童クラブ運営事業者連絡会」などからヒアリングを実施し、今回のアンケート結果や他市の事例を参考に、引き続き、効果的な手法を検討していきたいと考えている。

農業振興について

Q 持続可能な藤沢市の農業を実現するために、農家の支援や農業後継者の育成について聞きたい。

A 本市農業が持続可能となるよう、概ね10年後、農地を誰が担っていくかを地域で話し合い、地図に落とし込んでいく「地域計画」の策定を11地区で行っている。これによって将来の担い手が明確になり、農地が守られることを期待している。また、創意工夫により付加価値を高める農業を行っている有機農業者を知ってもらうためのオーガニックマルシェなどの取り組みや、学校給食に有機農産物を提供する取り組みを行っており、これらの取り組みを継続して行っていくことで本市の特色のある都市農業を発展させていく。



市民クラブ藤沢

佐賀 和樹



インバウンド誘客について

Q 具体的なインバウンド施策をはじめ、外国人観光客の市内宿泊や消費をより促進する取り組みについて聞きたい。

A インバウンド施策の具体的な事業としては、台湾における国際旅行博への出展の他、タイ、インドネシア、ベトナムへの施策として、SNSを活用した情報発信などを実施している。今後においては、観光事業者や地域の皆さまと一体となって、戦略的なインバウンド施策を進め、より魅力的で持続可能な観光地を創り上げられるよう取り組んでいく。また、「湘南の宝石」の他、体験や交流をはじめとした新たな観光スタイルの創出と、既存の観光コンテンツのさらなる充実により、宿泊を伴う長期滞在につなげ、市内消費の拡大を図っていく。

デフリンピックについて

Q デフリンピックの気運を醸成するために、どのように取り組んでいくのか聞きたい。

A 令和7年11月に開催される夏季デフリンピック競技大会は、日本では初めての開催で、第1回デフリンピックが開催されてから、100周年の記念となる大会である。ポルトガルチームの代表が来藤し、正式に事前キャンプの受入要請があった。東京2020大会のレガシーとして、神奈川県と連携し国際交流事業の実施などを通じて、スポーツを契機とした福祉、教育など庁内各部局の横断的な連携を進める中で、手話言語の普及、聴覚障がいやろう文化への理解促進など、合理的配慮への意識啓発につなげるとともに、共生社会の実現に取り組む。

下水道の官民連携の取り組みについて

Q 包括的民間業務委託の現状、課題や効果について聞きたい。また、維持管理と更新事業を一体的にマネジメントするウォーターPPP（※）の今後の取り組みは。

A 入札不調などにより年間に予定した数量に達しなかった管路調査が計画的に実施できていることや、官民連携が強化されたことにより、修繕対応件数が、令和5年度約200件に対し、6年度が約450件と増加している。次に、ウォーターPPPの導入に向けて、6年度は民間事業者の参入意欲や入札参加条件などを確認する目的で、マーケットサウンディングを実施しており、引き続き、官民連携の推進を図り、良好な下水道サービスの維持に努めていく。

（※）ウォーターPPP…水道や下水道などの公共施設の運営事業を官民連携で進める方式のこと。



民主クラブ

大矢 徹



いじめのない学校に向け仕組みづくりを

Q 本市立中学校におけるいじめにより、被害者の生徒が不登校となり、市外の中学校へ転校することとなった問題について、いじめで辛い思いをした子どもに寄り添い、いじめをしてしまった子どもにも寄り添うとともに自分の行為に気づかせ、子どもたちの関係をつなぎ直すことが、いじめの解決と考えるが見解を聞きたい。また、常設型の相談機関の設置など、新たないじめに対応する仕組みを検討する必要があると考えるがどうか。

A 学校および教育委員会は、子どもたちの人権を尊重し、心身ともに健やかに成長できる環境を整えることに注力し取り組んでおり、今後も信頼と友愛に満ちた、いじめのない学校、子どもたちの笑顔が溢れる学校を目指し、全力で取り組む。また、いじめのみに対応する常設の相談機関など設置は検討に至っていないが、子どもがSO Sを発信しやすくなるよう、全校にスクールカウンセラーを配置するなどさまざまな取り組みを進めている。

ご遺族手続支援窓口と終活の相談窓口

Q 多死社会（※）において、ご遺族手続支援窓口の利用が増えると想定されるが、現状の体制に問題はないか。また、終活に関する相談窓口も必要と考えるが見解は。

A 多死社会を迎え、本市においても死亡届の提出が増加しており、ご遺族支援手続窓口の利用も増加していくと考えられることから、今後は、執行体制の充実・強化が必要であると考え。また、終活支援については、先進自治体の事例を参考に、相談支援窓口の設置など、早期開始に向けて準備を進めていく。

（※）多死社会…高齢化が進むことに伴い死亡者数が増加し、人口が減少していく社会のこと。

小学校の給食費無償化

Q 令和7年度からの小学校の給食費無償化開始を見送った経緯と、国における小学校の給食費無償化を8年度に実施とする3党合意に対する、市の見解を聞きたい。

A 小学校給食費全体に対する無償化による支援については、国の動向などの社会経済情勢によって、地方自治体の財政に与える影響が不透明になったことから、7年度からの実施を見送ることとした。また、3党の合意文書を踏まえ、国からの財源が十分措置されないことや臨時的な財源となる可能性にも備え、7年度早々から歳入確保や事業選択などによる財源確保にも着手することで、8年度からの実施を目指していく。

ケアラー支援

Q ケアをされる人もする人も自分らしい生き方ができる藤沢づくり条例の制定を踏まえ、今後の取り組みの考えを聞きたい。また、ケアラー支援協議会はケアラー当事者や元ヤングケアラーなど、当事者の思いや意見をケアラー支援計画に反映させる場であってほしいと考えるが、協議会の構成をどのように考えているのか聞きたい。

A 行政、市民、事業者、学校などを含む関係機関と連携し、ケアラーに対する包括的な支援が実施できるよう、支え手・受け手の関係を越えた、支え合いの地域づくりを進めていく。藤沢市ケアラー支援協議会の委員構成については、ケアラーもしくはケアラー経験者、ケアラー支援に係る関係機関や民間支援団体に属する方、市内の企業関係者、労働者団体、学識経験者などを想定している。

下水道の維持管理

Q 埼玉県八潮市で発生した下水道の破損に伴う道路陥没事故を受け、本市における緊急点検の実施状況や点検結果と通常行なっている管路の点検頻度を聞きたい。

A 本市独自の緊急点検を、大清水浄化センターに接続する口径2,000ミリ、延長約550メートルの下水道管で実施し、汚水の流下状況などの点検に加え、同路線の路面下における空洞の有無についても調査し、異常が無いことを確認した。また、本市での点検は毎年実施しており、引き続き、適正な維持管理に努める。

西北部地域のまちづくり

Q 健康と文化の森地区におけるまちづくりについて、若い人のアイデアや視点を取り入れることも必要と考えるが、慶應義塾大学との取り組み状況を踏まえ、今後どのように検討していくのか聞きたい。

A 令和6年度に大学を含めた関係者で構成する健康と文化の森地区産学公連携協議会などを立ち上げ、大学との連携、活動拠点の検討などを進めている。また、SFC万学博覧会（※）での、まちづくりアイデアコンテストで学生のアイデアが発表されるなどしている。今後も、さまざまな関係者と連携するとともに、新しい世代の多角的な意見を聞きながら、新たな都市機能の集積と周辺環境と調和した都市空間・景観形成に努め、西北部地域のまちづくりを確実に進めていく。

（※）SFC万学博覧会…慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（SFC）で開催されている、研究発表やオープンキャンパス、藤沢市民講座などのイベント。



日本共産党藤沢市議会議員団

柳沢 潤次



市の財源 福祉・暮らしに優先的な配分を

Q 今からでも大型開発事業の廃止を含めた、計画の抜本的見直しを行い、その財源を市民が望む福祉・暮らしの分野に優先的に配分することを求める。見解を聞きたい。

A 都市基盤整備事業については、まちの魅力の創出や市民の利便性の向上とともに、将来にわたる税収の安定化や、福祉や暮らしを充実させる諸施策の財源確保につながるものとする。本市では、これまでも、扶助費などの義務的経費や、公共施設の老朽化対策および将来的に堅固な財政基盤の構築にも資する投資的事業に対して、限られた財源をバランス良く配分してきたので、引き続き計画的な財政運営に取り組む。

スマート藤沢の役割

Q マイナ保険証への移行による健康保険証の廃止、会議室などの予約システムをインターネット申し込みに変更したことは市民の不評を買っている。スマート藤沢はまちづくりのコンセプトから外すべきと考えるがいかがか。

A 本市は、従前からスマート藤沢の具現化に向けて、さまざまな取り組みを進めており、誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化の実現に向け、市民の誰もがデジタル化の恩恵を享受できるよう進めることとしている。こうした考え方のもと、市民生活の利便性向上につながる取り組みについては、スピード感をもって推進している。市民一人一人のニーズに合ったサービスの提供に向けて、広範な分野のデータを、有効かつ柔軟に活用することにより、スマート藤沢の実現を目指していく。

社会保障、高齢者福祉の役割

Q 本市は、社会保障および高齢者の福祉についてどのように考えているのか、基本的な考えを問う。

A 社会保障制度は、国、県や市がそれぞれに役割を担い、連携しながら実施しており、国民健康保険の資格管理や給付、介護保険、児童手当、社会福祉サービスなどを市が主体的に行っている。全ての人々の生活を生涯にわたり支えるものであると認識している。高齢者施策は、就労支援や社会参加支援、介護予防など、社会参加を促し、生涯にわたる健康づくり、介護予防を推進したいと考える。施設整備は、複合化による機能集約やより身近な地域への転換を図るなど、限られた財源の中で、必要な方に必要な支援やサービスが行き届くよう、取り組む。



藤沢市公明党

塚本 昌紀



市政を発展させる 稼ぐ自治体運営を

Q 市長室を含む新組織の具体的な役割とその進め方、自治体経営の中身について聞きたい。

A 市長室を設けたのは、行政運営の最適化や、今後想定されるさまざまな社会課題の解決に向けたマルチパートナーシップを深化させた共創を進め、積極的な歳入確保に取り組むためである。全ての事務事業において、外部の視点を取り入れた客観的な調査・分析を実施し、事業の廃止・縮小も含めた見直しにつなげる。歳入確保の観点では、企業誘致や市内既存企業の再投資誘発、市有財産の有効活用を図り、寄付金などの獲得、公共料金の見直しなど、組織として幅広く、積極的に取り組む。

リトルベビーの母子支援

Q 2, 500グラム未満で生まれる低出生体重児「リトルベビー」を育てる家族と復帰後も搾乳を要する女性のため、搾乳場所の確保、表記とリトルベビー支援の理解を推進すべきと考えるが、見解を聞きたい。

A リトルベビーの現状と搾乳を含めた子育てへの理解が進み、安心して外出ができ、搾乳なども心配なく行えるような社会づくりは子育てしやすいまちとして必要であるため搾乳できますマーク普及の取り組み状況などを把握し、商業施設などへの効果的な周知啓発について検討する。

带状疱疹ワクチンの助成

Q 带状疱疹ワクチン接種費用助成事業の詳細と市民への周知について、市の考えを聞きたい。

A 令和7年4月から住民登録がある65歳になる方などを対象に公費負担を実施する。7年度から5年間、70、75、80、85、90、95、100歳になる方々を対象に加え、7年度は101歳以上の全ての方々を対象とする。市民へは、広報やホームページで周知を図り、対象者にハガキによる個別通知を予定している。

「スフィア基準」を満たした 避難所運営

Q 発災から48時間以内に、被災者が尊厳ある生活を営める最低基準を示す「スフィア基準」を満たした避難所運営についてどのように取り組むのか聞きたい。

A 避難生活における良好な生活環境の確保に向け、資機材の充足も必要になると考える。発災時には、受援計画に基づく受援体制の整備と強化を図ることにより、「スフィア基準」を踏まえた避難所運営に向けた取り組みを進める。

道路陥没を未然に防ぐ 路面下空洞調査の取り組み

Q 路面下空洞調査の取り組みは、これまでの実績をさらにブラッシュアップし、その成果をどのように市民に伝え、安全をつかさどるのか、今後の取り組みを聞きたい。

A 平成29、30年度に産学官連携による共同研究で、道路陥没などの潜在性を評価した道路陥没ポテンシャル評価マップを作成しており、令和6年度にマップの見直しを行い、ブラッシュアップに取り組んでいる。今後も調査を継続し、道路陥没を未然に防ぐ効率的で効果的な空洞対策を進め、より安全で安心な道路環境を目指す。



Visionふじさわ

友田 宗也



本市の財政運営 硬直化防ぐ試みを

Q 令和7年度予算では、大部分が義務的経費や経常的経費に充てられ、財政の柔軟性が低下している。今後、扶助費の増加や公債費の推移によってさらに経常収支比率は上昇する懸念があるが、財政の硬直化をどう防ぐのか。

A 市税など一般財源の確保を図ることに加え、歳出構造を見直すことも必要であると考え。地方交付税制度における基準財政需要額に算出されない事業の洗い出しを行い、扶助費を含めた市単独事業も、効果を見定め再構築する必要がある。投資的事業は、優先順位付けを行うことで市債借入額を制限し、事業選択や業務整理による人件費削減などにより、硬直化を抑制したいと考える。

湘南ライフタウンの再活性化

Q 湘南ライフタウンには地域住民の日常生活を支えている2つの大型ショッピングセンターがあり、建て替えの際には撤退の可能性があるという課題がある。都市機能の持続性を左右するこの課題を踏まえた湘南ライフタウンの再活性化をどのように進めるのか市の見解を問う。

A 今後は、地域にあった多様な可能性を視野に入れながら、地域活性化の取り組みを進めていく必要があると考える。そのため、商業施設の今後の動向を注視し、意見交換などを行うとともに、令和7年度から実施予定の湘南ライフタウン活性化促進事業において、人材の発掘・育成を進め、その人材が事業を展開し、人の輪を広げていくことで、地域の活力を維持させるなど、さまざまな方向性を検討し、活性化に取り組む。



湘南維新の会

吉松 巳希



戦後80年、 次世代へ伝えるために

Q 戦後80年を迎えるに当たり、どのような記念事業を計画しているか。また、戦争を知らない世代に対する平和教育などを強化し、核兵器廃絶や平和の尊さをどのように伝えるか、今後の取り組みや方針、計画を聞きたい。

A 戦後80年事業については、戦争の記憶を後世につなぐため、本市にゆかりのある戦争体験者の声を動画として収録した戦争体験アーカイブの公開を検討している。また、戦争体験アーカイブで証言された方の平和事業への参画など、戦争体験者の声を聞く機会を強化するとともに、平和学習長崎派遣プログラムでは新たな体験プログラムの検討を進める。

温室効果ガス削減に向けた 意識改革

Q 温室効果ガス削減に向けて、さまざまな補助金があるが、活用しきれていない状況が続いている。これは、電気自産自消が最大効果を発揮する世の中で、市民自ら行動を起こす意識が醸成されていないためと考える。今後どのようなビジョンで意識改革に取り組んでいくのか。

A 藤沢市地球温暖化対策実行計画の見直しにより、2030年のSDGsのゴールも見据えたアクションプランを作成し取り組みの充実を図っていく。また、電気料金高騰の中、補助制度を活用して太陽光発電設備と蓄電池を同時設置することで自家消費率が向上する電気自産自消のメリットを実感してもらうことで、補助金執行率の向上につなげるとともに、導入効果を広く共有することにより、気候変動対策への市民意識を高めていく。



アクティブ藤沢

原田 建



“誰一人取り残さない”の 本気度を問う

Q 企業や団体などと互恵関係のもと共創によって社会課題の解決を図っていくとするのなら、市長は企業団体献金を受けないと明確にすべきと考えるが見解を聞きたい。

A 寄付は適切に処理しており、企業団体献金を受け取ったことはない。今後についても同様の考えである。

Q 医療的ケア児・者を地域で支える多職種連携をどう進めるのか。

A 現在は関係機関との共同で事例検討会を実施している。令和7年度は（仮称）医療的ケア地域支援協議会の創設に向け準備会を設置し、情報や経験の蓄積と共有、共通認識、相互理解を形成し、行政を含めたチーム支援の礎を築くことで多職種、多機関の連携を一層強化していく。



自由民主無所属の会

甘粕 和彦



本市の歴史や伝統に対する 考えについて

Q 市制85周年を迎える本市において、本市の歴史や伝統に対する市長の思いを聞きたい。

A 本市は、急増する人口に対し、生活インフラ需要の量的な拡大とともに、都市としての賑わいや経済、都市活動を活性化させ、さまざまな側面を持つ都市として発展をしてきており、こうした発展と合わせ、人々に快適性をもたらす緑の空間や潤いのある風景はしっかりと保全し、理想の市政を進めてきた。本市のまちづくりの歴史や伝統を踏まえ、開発と保全のバランスを取りながら、藤沢を愛する皆さまと共に、「藤沢らしさ」をしっかりと次世代に引き継ぎ、未来への道筋をつけていく。

台湾との経済交流や 観光交流について

Q ハイテク産業を中心とした産業構造をもつ台湾との経済交流や観光交流について、市の見解を聞きたい。

A 経済交流については、東南アジア地域をターゲットとした現地視察会を毎年実施するなど、販路拡大や人材採用支援に取り組んでいる。観光面については、インバウンドの誘客宣伝事業を展開する上での戦略的なターゲットとして、これまでも積極的なプロモーション活動を行ってきた。平成28年に市内の鉄道事業者と高雄市の鉄道事業者が観光連携協定を締結しており、今年度も、高雄市内で開催された旅行博への出展と合わせて高雄市観光協会を訪問し、意見交換などを実施した。インバウンド誘致は、観光客数の増加にもなり、地域経済の活性化にもつながることから、引き続き、積極的に進めていく。



We 藤沢

森井 健太郎



監査で指摘された事業は 廃止又は縮小を

Q 現在の事務事業評価は、自己評価であり、あまり機能しているとは思わない。今のやり方は改めて新たに設置される市長室において、客観的かつ横断的に事業選択の検討を進めるべきであると考えが市の見解を聞きたい。

A 本市における事務事業評価は、自己評価であることから客観的な視点に欠ける部分は課題として認識しており、定期監査などで廃止を含めた事業の見直しについて言及される事態が生じている。来年度、新設される市長室において、客観的な分析に基づく既存の事業手法の見直しや、公共と民間の役割を明確にした上での事業選択などによる経営的な視点に立った効率化および最適化を図るべく事業主管課と密に連携し、取り組みを進めていく。



総務常任委員会

10/16(水)~10/18(金)

報告書は
こちらから

- 宮城県仙台市
・市民協働事業について
- 宮城県多賀城市
・震災経験・記録伝承事業について
・防災DXについて
- 山形県山形市
・山形市犯罪被害者等支援条例について



②視察の様子

厚生環境常任委員会

10/23(水)~10/25(金)

報告書は
こちらから

- 日本ファイバー株式会社（福岡県大川市）
・古着リサイクルの取り組みについて
- 福岡県久留米市
・久留米らしい重なり方
デザイン事業について
- 福岡県福岡市
・「福岡100」の取
組みについて
- 福岡県北九州市
・北九州市のエコタウン
事業について



①資源分別サイクル現場見学の様子



④北九州市エコタウンセンター見学の様子

議会運営委員会

1/21(火)~1/22(水)

報告書は
こちらから

- 栃木県宇都宮市
- 岩手県奥州市
・災害時のタブレット端末の活用について
・本会議における一般質問のオンライン化について
・請願・陳情のオンライン化について
・議員間討議について ※奥州市のみ
・字幕表示について ※奥州市のみ



②視察の様子

子ども文教常任委員会

10/21(月)~10/23(水)

報告書は
こちらから

- 東京都荒川区
・ゆいの森あらかわの取り組みについて
- 福岡県嘉麻市
・学校施設と社会教育施設の複合化について
- 大分県別府市
・「たびスタ」休暇について



①ゆいの森あらかわ見学の様子



②下山田小学校見学の様子

建設経済常任委員会

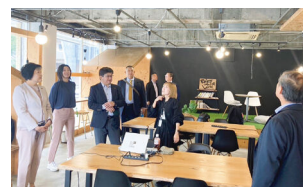
10/30(水)~11/1(金)

報告書は
こちらから

- 宮崎県都城市
・物産振興拠点施設（道の駅）整備事業について
- 鹿児島県霧島市
・「リノベーションまちづくり」について
- 宮崎県宮崎市
・企業立地について



①「道の駅」都城NiQLL視察の様子

②1tree coffee 国分中央店
コワーキングスペース見学の様子

議会改革推進会議

1/27(月)~1/28(火)

報告書は
こちらから

- 茨城県取手市
・女性議員による議会改革特別委員会の取り組み
について
・字幕表示について
- 熊本県熊本市
・障がいのある議員への合理的配慮について



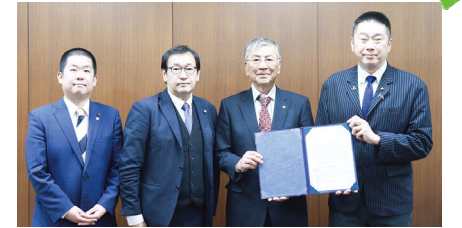
②視察の様子

「カフェトークふじさわ」で
出た意見を集約議員と
話そう

市長に集約した意見などを提出

藤沢市議会では、議会基本条例に基づき、令和6年11月10日に「カフェトークふじさわ」と題した議会報告会・意見交換会を開催しました。

当日は、平成28年の開催当初からご協力をいただいている関東学院大学法学部の牧瀬教授とゼミナール生に講師や進行補助をお願いし、「藤沢駅周辺のまちづくりを考えよう!」をテーマに、市内の中、高、大学生の他、一般市民が参加して、議員と活発な意見交換を行いました。当日いただいた意見については集約し、牧瀬ゼミナール生の政策提言書とともに、令和7年3月17日に桜井直人議長、栗原貴司広報広聴委員会委員長、味村耕太郎広報広聴委員会副委員長から、鈴木市長に対して提出いたしました。



鈴木市長（中央右）に集約した意見を渡す
桜井議長（右）と栗原委員長（中央左）、
味村副委員長（左）



牧瀬ゼミナール生による政策提言発表会の様子



藤沢市議会からの

お知らせ

議会を
見てみよう!YouTubeでも
動画配信中

2月定例会で行われた代表質問の動画をYouTubeでも試行的に配信しております。ぜひご覧ください。

なお、YouTube配信に関するご意見については、下記「ふじさわ市議会だよりへのご意見募集」の自由記載欄にご記載ください。



ふじさわ市議会だよりへの ご意見募集

今後も、分かりやすく、手に取りやすい市議会だよりを目指し、紙面構成を検討していきますので、ぜひ、ご意見・ご感想をお聞かせください。



藤沢市議会を詳しく知るには 市議会ホームページを ご覧ください!

藤沢市議会ホームページでは以下の内容などを掲載しておりますので、ぜひご活用ください。

- 議案の概要と議決結果
- 本会議などの会議録
- 議会の中継・録画映像
- 議会での取り組み
- 市議会の内容を簡単に分かりやすくまとめた「市議会のしおり」
- データ版の市議会だよりなど



藤沢市議会の情報をスマホで!

藤沢市公式LINEでは、市議会の日程や市議会だよりなどを発信しています。事前に受け取りたい情報を設定いただくと、欲しい情報をご確認いただけます。ぜひ下の手順でご登録をお願いします。



LINE登録方法

- ①LINEを用いて2次元コードを読み取り、藤沢市公式LINEを追加
- ②「受信設定」をタップ
- ③「アンケートに回答」をタップ
- ④アンケートの「市議会」にチェックをし「回答」をタップ

議会の動き

1月

- 15日 厚生環境常任委員会
- 23日 子ども文教常任委員会
- 31日 議員全員協議会

2月

- 4日 藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会
- 10日 議会運営委員会
- 13日 議会運営委員会
本会議（第1日）
- 17日 議会運営委員会
本会議（第2日）
広報広聴委員会
- 18日 建設経済常任委員会
- 19日 厚生環境常任委員会
- 20日 子ども文教常任委員会
- 21日 総務常任委員会
- 25日 補正予算常任委員会
- 26日 広報広聴委員会
- 28日 議会運営委員会
本会議（第3日）

3月

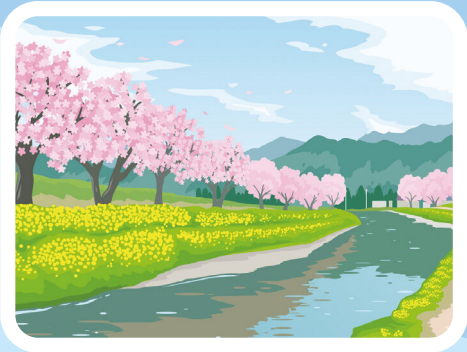
- 3日 議会運営委員会
本会議（第4日）
- 4日 議会運営委員会
本会議（第5日）
予算等特別委員会
- 5日
- 6日
- 7日
- 10日
- 11日 予算等特別委員会
- 12日
- 13日
- 14日
- 17日
- 19日 議会運営委員会
本会議（第6日）
広報広聴委員会

2月定例会

2月定例会

常任委員会・特別委員会の動き

委員会は、少人数の議員で構成し、議会に提出された議案や請願・陳情、市が行っている事業や計画などの審査・調査をする会議のことです。
ここでは、委員会の審査・調査内容についてご紹介します。
2次元コードを読み込むと当日の様子（録画中継）がご覧いただけます。



厚生環境 常任委員会



厚生環境常任委員会は、1月15日と2月19日に開催され、1月15日の委員会では、藤沢市保健医療センターの視察を行い、2月19日の委員会では、陳情3件を審査しました。
また、①藤沢市民病院の西館等再整備に係る基本構想について（最終報告）、②藤沢市健康増進計画（第3次）の策定について（最終報告）、③第4次藤沢市食育推進計画の策定について（最終報告）の報告を受けました。

ここに注目！

第4次藤沢市食育推進計画を策定しました

- 食育講演会などについて、オンライン開催や会場開催などを組み合わせ、誰もが参加しやすい手法で開催します
- SNSなどを活用し、学校給食の内容など、市内で生産される農水産物や直売所の情報、レシピなどを紹介します
- 「人々がより良い選択を自発的にとれるように手助けする手法」として、ナッジ理論を取り入れて食育を推進します



小学校給食紹介



おいしい藤沢産

子ども文教 常任委員会

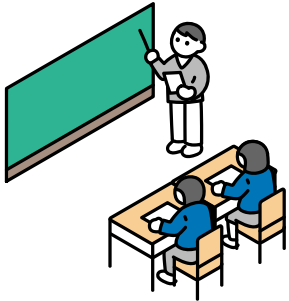


子ども文教常任委員会は、1月23日と2月20日に開催され、1月23日の委員会では、湘南台文化センターこども館ならびに秋葉台文化体育館および秋葉台公園球技場の視察を行い、2月20日の委員会では、議案3件を審査しました。
また、①藤沢市子ども・若者共育計画の策定について（最終報告）、②藤沢市少年の森再整備基本構想の策定について（最終報告）、③第4期藤沢市教育振興基本計画の策定について（最終報告）の報告を受けました。

ここに注目！

第4期藤沢市教育振興基本計画を策定しました

- 基本理念を『未来を拓く「学びの環」ふじさわ』とし、学びを通して人と地域がつながる生涯学習社会ふじさわを目指します
- 市立の小中学校や特別支援学校の学校教育および生涯学習全般などを対象としています
- 令和7年度から11年度までの今後の教育政策の方向性を見据えて策定します



補正予算 常任委員会



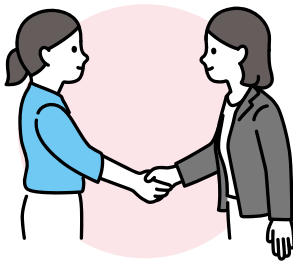
補正予算常任委員会は、2月25日に開催され、議案8件を審査しました。



総務 常任委員会



総務常任委員会は、2月21日に開催され、議案5件、陳情1件を審査しました。
また、①鶴沼市民センター等再整備基本構想の策定について（最終報告）、②藤沢市犯罪被害者等支援条例の制定について、③（仮称）ふじさわ女性支援計画の策定について（最終報告）の報告を受けました。



ここに注目！ （仮称）ふじさわ女性支援計画を策定しました

- 女性への支援に特化した内容とし、ふじさわジェンダー平等プラン2030の別冊として策定します
- 誰一人取り残さないインクルーシブな支援を通じて、全ての女性のウェルビーイング（※1）の実現を目指します
- ライフステージに応じた女性の就業を促進する他、就労相談やリスキリング（※2）の推進など、女性が自分らしく生きるための生活の安定に向けた取り組みを進めます
- 計画期間については、ふじさわジェンダー平等プラン2030と合わせ、令和7年4月から13年3月までの6年間とします

（※1）ウェルビーイング…幸福で身体的、精神的、社会的全てにおいて満たされた状態。
（※2）リスキリング…業務内容の変化や今後新たに発生する業務で必要とされる知識や能力を習得するための学び直しなど、就業能力を再開発・再教育すること。

建設経済 常任委員会



建設経済常任委員会は、2月18日に開催され、議案8件、陳情1件を審査しました。
また、①藤沢市建築物再生可能エネルギー利用促進計画の策定について（最終報告）、②旧桔梗屋における保全活用に係る事業進捗について、③村岡地区のまちづくりの取組についての報告を受けました。

ここに注目！ 村岡地区のまちづくりの取り組みを進めています

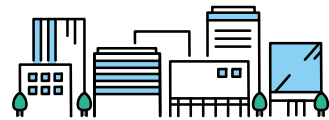
- 新駅設置について、令和6年5月20日に神奈川県、鎌倉市、藤沢市およびJR東日本で「新駅設置等に関する施行協定」を締結しました
- 令和6年3月に策定された「村岡新駅周辺地区まちづくりコンセプトブック」を活用しながら、企画展示などのさまざまな機会で行い、まちづくりの機運醸成を図っていきます

スケジュール										
	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	R12 年度	R13 年度	R14 年度	R15年度 以降
村岡・深沢地区 土地区画整理事業	詳細設計・工事等									換地 処分
村岡新駅(仮称)整備事業	工事							開業 (令和14年頃)		
シンボル 道路整備 事業	村岡新駅南口通り線	詳細設計等	工事				完成			
	深沢村岡線(ほくく橋りょう部)	詳細設計等			工事			完成		

※令和6年3月時点のスケジュールで、今後変更になる場合があります

藤沢都心部再生・公共施設再整備 特別委員会

藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会は、2月4日に開催され、藤沢都心部再生および公共施設の再整備についてを議題とし、第4次藤沢市公共施設再整備プランの策定について（最終報告）を審査しました。



議案等審議結果

○：賛成 ×：反対 ▲：賛否が分かれる
－：陳情を審査する委員会（付託委員会）への委員選出なし

2月定例会に提出された議案などと審議結果は次のとおりです。

番号	件名	付託委員会	年月日	結果	各会派の賛否								
					市民クラブ	民主クラブ	公明党	共産党	V i s	維新	自民無	アクテ	We藤
市長提出													
67	専決処分の承認について（令和6年度藤沢市一般会計補正予算（第5号））	付託せず	7.2.17	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
68	藤沢市市政運営の総合指針2028基本方針の策定について	付託せず	7.2.17	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
69	市道の認定について（鵠沼964号線ほか11路線）	建設経済	7.2.28	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
70	市道の廃止について（鵠沼884号線ほか6路線）	建設経済	7.2.28	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
71	藤沢市特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例及び藤沢市市税条例の一部改正について	付託せず	7.2.17	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
72	藤沢市職員定数条例の一部改正について	予算等	7.3.19	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
73	藤沢市職員の勤務時間等に関する条例の一部改正について	総務	7.2.28	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74	藤沢市非常勤職員の報酬等に関する条例及び藤沢市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正について	総務	7.2.28	可決	○	○	○	×	○	×	○	○	○
75	藤沢市一般職員の給与に関する条例の一部改正について	総務	7.2.28	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
76	藤沢市手数料条例の一部改正について	総務	7.2.28	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
77	藤沢市屋外広告物条例の一部改正について	建設経済	7.2.28	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
78	藤沢市土地の埋立て等の規制に関する条例の廃止について	建設経済	7.2.28	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
79	藤沢市特定開発事業等に係る手続及び基準に関する条例の一部改正について	建設経済	7.2.28	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
80	藤沢市都市公園条例の一部改正について	建設経済	7.2.28	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
81	藤沢市建築基準等に関する条例の一部改正について	建設経済	7.2.28	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
82	藤沢市子ども・子育て会議条例の一部改正について	子ども文教	7.2.28	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
83	藤沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	付託せず	7.2.17	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
84	藤沢市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	付託せず	7.2.17	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
85	藤沢市自転車等駐車場条例の一部改正について	建設経済	7.2.28	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
86	藤沢市秩父宮記念体育館条例の一部改正について	子ども文教	7.2.28	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
87	藤沢市石名坂温水プール条例の一部改正について	子ども文教	7.2.28	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
88	藤沢市消防団員の退職報償金に関する条例の一部改正について	総務	7.2.28	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
89	令和6年度藤沢市一般会計補正予算（第6号）	補正予算	7.2.28	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
90	令和6年度藤沢市北部第二（三地区）土地区画整理事業費特別会計補正予算（第2号）	補正予算	7.2.28	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
91	令和6年度藤沢市墓園事業費特別会計補正予算（第2号）	補正予算	7.2.28	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
92	令和6年度藤沢市国民健康保険事業費特別会計補正予算（第2号）	補正予算	7.2.28	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
93	令和6年度藤沢市介護保険事業費特別会計補正予算（第2号）	補正予算	7.2.28	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
94	令和6年度藤沢市後期高齢者医療事業費特別会計補正予算（第1号）	補正予算	7.2.28	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
95	令和6年度藤沢市下水道事業費特別会計補正予算(第2号)	補正予算	7.2.28	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
96	令和6年度藤沢市民病院事業会計補正予算（第3号）	補正予算	7.2.28	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
97	令和7年度藤沢市一般会計予算	予算等	7.3.19	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
98	令和7年度藤沢市北部第二（三地区）土地区画整理事業費特別会計予算	予算等	7.3.19	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○

番 号	件 名	付 託 委員会	年月日	結果	各会派の賛否								
					市 民 ク	民 主 ク	公 明 党	共 産 党	V i s	維 新	自 民 無	ア ク テ	We 藤
市長提出													
99	令和7年度藤沢市墓園事業費特別会計予算	予算等	7.3.19	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
100	令和7年度藤沢市国民健康保険事業費特別会計予算	予算等	7.3.19	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
101	令和7年度藤沢市介護保険事業費特別会計予算	予算等	7.3.19	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
102	令和7年度藤沢市後期高齢者医療事業費特別会計予算	予算等	7.3.19	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
103	令和7年度藤沢市下水道事業費特別会計予算	予算等	7.3.19	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
104	令和7年度藤沢市民病院事業会計予算	予算等	7.3.19	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
105	工事請負契約の変更契約の締結について（鵠南小学校等改築工事（第3期建築工事））	付託 せず	7.2.28	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
106	藤沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び藤沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	付託 せず	7.3.19	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
107	教育委員会委員の任命について	付託 せず	7.3.19	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○
108	監査委員の選任について	付託 せず	7.3.19	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議員提出													
13	藤沢市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	付託せず	7.2.17	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○

陳情													
31	後期高齢者に対する公共交通費補助についての陳情	建設経済	7.2.18	趣旨 不了承	×	×	×	○	×	×	×	－	－
32	従来の健康保険証の発行存続を求める意見書の提出を求める陳情	厚生環境	7.2.19	趣旨 不了承	×	○※	×	○	－	×	－	－	－
33	訪問介護報酬引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を求める意見書の提出を求める陳情	厚生環境	7.2.19	趣旨 不了承	×	○	×	○	－	×	－	－	－
34	従来（紙）の健康保険証の発行存続を求める意見書提出の陳情	厚生環境	7.2.19	趣旨 不了承	×	○※	×	○	－	×	－	－	－
37	鵠沼市民センター・公民館等施設建替えに関する陳情	総務	7.2.21	趣旨 不了承	×	×	×	○	×	－	×	－	－

※ 退席した委員：大矢 徹

会派構成



会派とは、政策を中心とした同一の理念を共有する議員で構成し、活動するグループのことをいいます。**代**…会派代表者

会派名（省略表示）	人数	所属議員									
市民クラブ藤沢（市民ク）	11人	小池 恵子 町田 輝佳 井上 裕介	石井 世悟 栗原 貴司	西 智 松長由美絵	桜井 直人 石川 麻央	代 佐賀 和樹 山口 政哉					
民主クラブ（民主ク）	8人	柳田 あゆ 安藤 好幸	安田 景輔 竹村 雅夫	須田 一行 代 大矢 徹	神尾 江里	谷津 英美					
藤沢市公明党（公明党）	5人	松尾 宏之	今井みきこ	平川 和美	東木 久代	代 塚本 昌紀					
日本共産党藤沢市議会議員団（共産党）	4人	土屋 俊則	味村耕太郎	加藤 彩野	代 柳沢 潤次						
Visionふじさわ（Vis）	2人	代 友田 宗也	有賀 正義								
湘南維新の会（維新）	2人	吉松 巳希	代 西川 誠志								
自由民主無所属の会（自民無）	2人	代 甘粕 和彦	佐野 洋								
アクティブ藤沢（アクテ）	1人	代 原田 建									
We藤沢（We藤）	1人	代 森井健太郎									

※上記は令和7年2月定例会における会派構成です。会派内の氏名は議席番号順。

会派の変更

4月1日付で会派の変更がありました。

■新会派結成

「湘風維新無所属の会」（6人） 友田 宗也 有賀 正義 吉松 巳希 ※Visionふじさわ、湘南維新の会、自由民主無所属の会が合流しました。
西川 誠志 **代**甘粕 和彦 佐野 洋

■名称変更

「無所属藤沢」（1人） **代** 森井 健太郎 ※We藤沢が名称を変更しました。

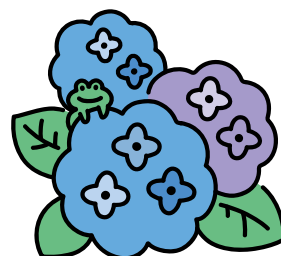


次回 予告

閉会中に開催する諸会議 および6月定例会

● 閉会中に開催する諸会議

開催日	開会時刻	会議名
4月30日(水)	9:30	議会運営委員会
5月13日(火)	10:00	5月臨時会（第1回）本会議
	本会議休憩中	議員全員協議会
22日(木)	10:00	5月臨時会（第2回）本会議
30日(金)	13:00	災害対策等特別委員会（水防訓練現地視察）
6月 2日(月)	15:30	議会運営委員会



● 6月定例会

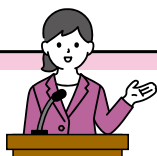
開催日	開会時刻	会議名
6月 5日(木)	10:00	本会議（議案の説明など）
9日(月)	10:00	本会議（議案の審議など）
10日(火)	9:30	建設経済常任委員会
11日(水)	9:30	厚生環境常任委員会
12日(木)	9:30	子ども文教常任委員会
13日(金)	9:30	総務常任委員会
16日(月)	9:30	補正予算常任委員会
17日(火)	9:30	議会運営委員会

開催日	開会時刻	会議名
6月19日(木)	10:00	本会議（議決、一般質問など）
20日(金)	10:00	本会議（一般質問）
23日(月)	10:00	本会議（一般質問）
24日(火)	10:00	本会議（一般質問）
25日(水)	10:00	本会議（一般質問）
26日(木)	10:00	本会議（一般質問、議決など）
	本会議終了後	広報広聴委員会

※各本会議の日には、9:30から議会運営委員会が開催されます。

また、本会議・常任委員会・特別委員会・陳情を審査する議会運営委員会はインターネット中継を行います。

傍聴のご案内



傍聴をご希望の方は、上記の日時をご確認の上、議会局へお越しください。

なお、日時などは変更になることがありますので、詳しい内容はホームページでご確認ください。

本会議などの議場で行う会議において、難聴者用ヒアリンググループ専用受信機の貸し出しを行っています。ご希望の方は、当日議会局にお申し出ください。

また、手話通訳および要約筆記をご希望の方は、傍聴希望日の5日前（土日祝日を除く）までに、申込書（ホームページ掲載・議会局にて配布）によりお申し込みください。

【問い合わせ】議会局議事課
TEL 0466-50-3566（直通）
FAX 0466-24-0123
Eメール fj-giji@city.fujisawa.lg.jp



請願・陳情のご案内

6月定例会では、請願・陳情ともに6月2日（月）正午までに提出されたものを審査します。

また、請願と陳情については、希望により委員会において趣旨説明（意見陳述）を行うことができます。



お知らせ

会議録は、図書館、文書館、市政情報コーナー（市役所本庁舎4階）、市議会のホームページでご覧いただけます。2月定例会の会議録は5月下旬ごろから閲覧できます。

点字版および声の市議会だよりをご希望の方は、議会局議事課までご連絡ください。

